

三重



市販のストーブに熱電素子を組み込み、イモ燃料による発電装置を試作したエース設備社長の国吉修司さん。近畿大の鈴木高広教授が考案したサツマイモの多収穫栽培方法。ニューファームプロジェクト事業のメンバーが棚を試作、栽培している＝いずれも鈴鹿市安塚町

イモ発電 耕作放棄地で栽培、燃料に

イモを燃やして電気を起こす発電装置が、29日に鈴鹿市石薬師町で開催される「芋収穫祭」でお披露目される。同町内の耕作放棄地でサツマイモを栽培し、食料や燃料などの多面的利用をめざす「ニューファームプロジェクト事業」に参加している市内の設備会社が試作した。北海道のメーカーが作った石炭やまきを燃やすストーブを購入。熱を電気に変える熱電素子を組み込んだユニットを組み付け、完成した。煙突も含め、高さ3・5メートル。製作したエース設備社長の国吉修司さん(60)によると、400ワットほどが発電でき、収穫祭で実際に作動させるという。



多面的利用へ 29日鈴鹿で披露

収穫祭を控えた22日に雑草の刈り取りをした際、掘ってきた一部のイモをチップ化し、乾燥させて燃料で試した。順調に発電できたという。「食料になるうえストーブで暖を取ることも、発電することもできる。避難施設にはもってこい」と国吉さん。

29日午前10時からある収穫祭では、イモづくりに場所を選ばないユニークな栽培方法も提示する。鉄材を屋根型に組み、土とイモ苗を植えた樹脂製の袋をつるして栽培する。同社で2基製作し、メンバーの試験栽培でも順調な成長が確認されている。同事業のメンバーでもある近畿大の鈴木高広教授が考案。狭い面積で多くの収量を上げられるという。(佐野登)

●胃腸科・外科・内科・小児科・整形外科(健康診断)

山中胃腸科病院

■休診日：火曜日午後、全曜日祝日 ★土曜日は診療しております。
四日市市小古曾三丁目五之三三 ☎(059)345-1051(代)

http://www.yamanaka-hsp.or.jp/

津総局
☎514-0032
津市中央9-2
059-228-4141
FAX 224-4817
Eメール:mie.opi@asahi.com
県内支局

志摩の事業所 5年

県は25日、介護報酬を不正に請求したとして、志摩市阿児町の介護事業所「ヘルパーステーションすまいる」を5年間、在宅系サービス指定を取り消す行政処分にしたと発表し

介護報酬

木田久主一市長が「3」はどこでも注目の的で宣伝効果が大きい。力を合わせてがんばってほしい」と書

鳥羽市相差町の現役三世目代海女、中川寿美子さん(73)ら母娘3人が、国内で最も海女が多い同市の観光宣伝に一役買う。3人それぞれ「大役」に起用されることが決まり、25日、市役所で任命式があった。

3人は寿美子さんと息子の妻早苗さん(40)、孫娘の大学3年静香さん(21)。1977年から民宿を営む寿美子さんは代々海女の家系に育ち、この道約60年の経験を持つ。早苗さんは結婚後、寿美子さんの姿を見て海女を始め、静香さんは高校3年のとき2人の後を追った。

現役三世目 鳥羽の観光

市、キャンペーンガ